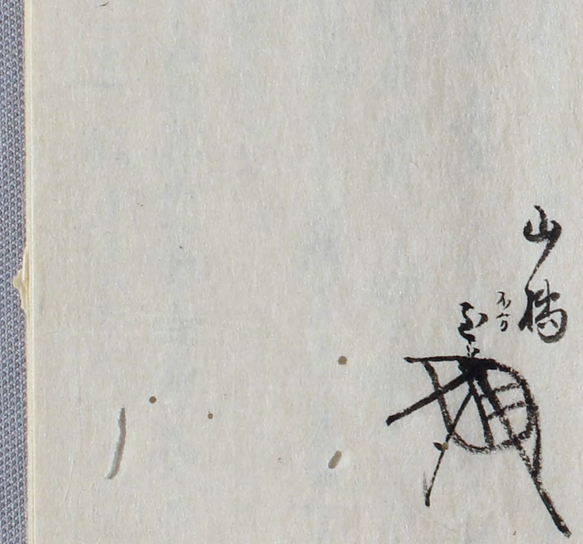
長束大蔵大輔幕下 志野勝右衛門ヨリ
添状返書 龜田後伊与守ト云

五ノ巻壱

五ノ巻二

山中橋内ヨリノ来翰壹
返翰壹



山伏内
寺澤正心峯寺ヨリ
来翰

立ノ巻四

五ノ巻五

長束大蔵大輔ヨリノ忍翰

権律師定怡ヨリ
女地頭千代壽女ニ之来状

寺沢志摩守正澄

敞造寺山城守舎弟同安芳寺ヨリ
有浦大和守親ヲ之高ノ長返翰二通

山中山城守ヨリ
来翰

十ノ巻九

十ノ巻十

就造寺安房守信周ヨリ来翰

書翰ノ上ニ

有浦左衛門大夫盛ヨリ
同藤九郎左衛門志摩守宛

有馬兄弟義弘義貞ヨリ
有浦四郎左衛門取次来翰

三浦宮内殿　　義純

追而申候、しらぬ御仁より御状参候、
日記ニ今一通他々しき方へ御状遣候、
此方より合申候間、御分書申候、
御志忝存候、明年ハ用出の時日ニ而
御訪おさ〳〵不申候、
御ゆるし奉願候、
猶〳〵追而参上御礼可申候、
恐惶謹言

義純
義貞

十ノ巻十三

岬子美作守弘ヨリ
有浦大和守識江　高ノ長

三浦宮内殿　　義純

こちのまゝ毎日一度あつけ申候間
御心安可被成候、
追而上ゲ申候文を御入可被遣候、
御遠ト之義ニ御座候間、
以上

元亀十九年
十二月廿日

義

廿ノ巻十四

就造寺山城守ヨリ
有浦大和守ニ来翰

追上

廿ノ巻十五

山中権内ヨリ
有浦伊賀守正江返翰

立ノ巻十六

波多三河守鎮ヨリ有浦大和守高江
息孫左衛門至戦死吊状

立ノ巻十七

波多三河守鎮ヨリ
有浦大和守高江来翰

廿ノ巻十八

一如齋覚仙ヨリ波多
三河守鎮遠翰

太閤秀吉公駐迩山中山城守

四ノ巻壱

一 [illegible]

汁肴 [illegible]

一 [illegible]

汁三ツ

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

四ノ巻二

浅野弾正少弼 長吉ハ初メノ名ナルヘシ 後長政ト云

ヨリ大和守高ヲ来翰

四ノ巻三

長束大蔵太輔正家ヨリ 大和守高伊賀守正江之来翰

山中山城守

四ノ巻立

四ノ巻六

四ノ巻七

毛利豊岐守勝信

四ノ巻八

四ノ巻九

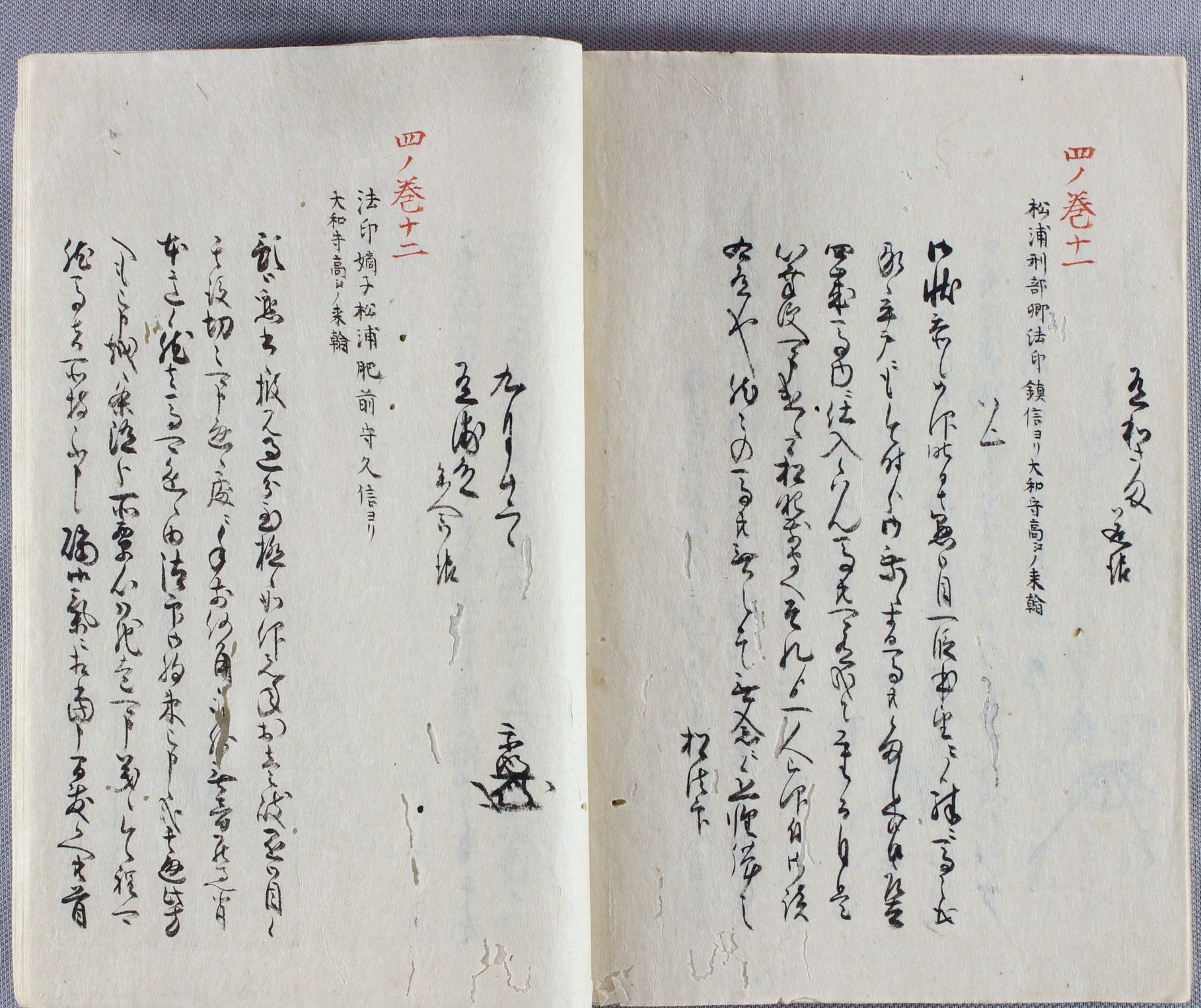
山中山城守ヨリノ
来翰

四ノ巻十

山中山城守

四ノ巻十一

松浦刑部卿法印鎮信より大和守高ヨノ来翰



四ノ巻十二

法印嫡子松浦肥前守久信より
大和守高ヨノ来翰

四ノ巻十三

鋼嶋加賀守直茂ヨリ
大和寺高江之来翰

四ノ巻十四

筑前中納言隆景
吉川駿河守元春ヨリ冨左衛門駅江ノ来翰

四ノ巻十五

上ゲ書

有浦左馬之助殿

旧杵安房守

四ノ巻十六

有馬義貞ヨリ大和守高江ノ来翰

追伸

有馬兄弟義純義貞ヨリ有浦駿江ノ来簡

四ノ巻十八

就造寺山城守隆信ヨリ
有浦大和守ヲ以来翰

書簡ノ表

義昌

就其元無沙汰之方々ハ
御心得ニ而被仰上候様ニ
御取成可被下候

龍心
隆信

同上

有浦大和守ヲ以書翰

義昌

就其元無沙汰之方々ハ
御心得ニ而被仰上候様ニ
御取成可被下候

龍心
隆信